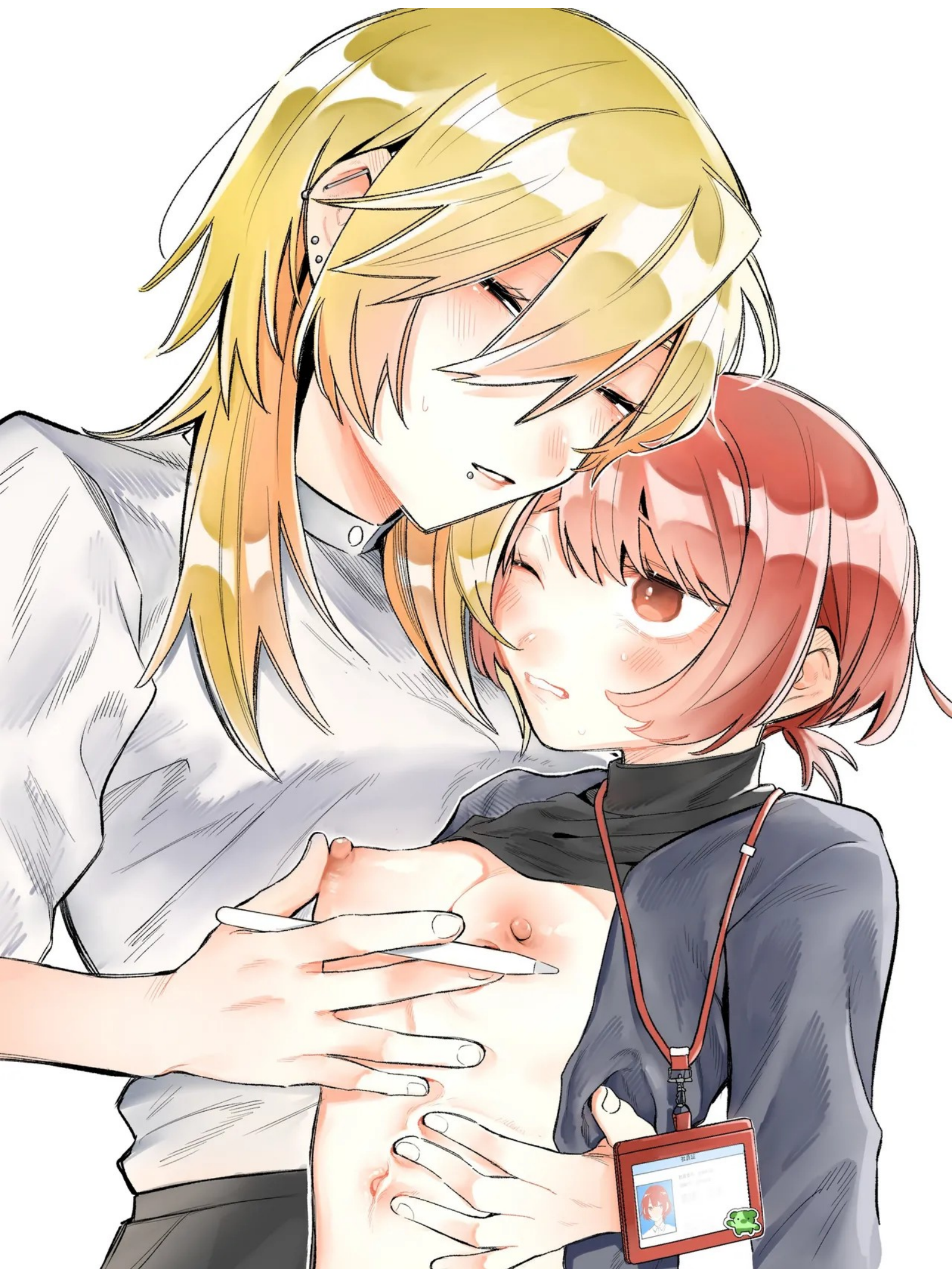
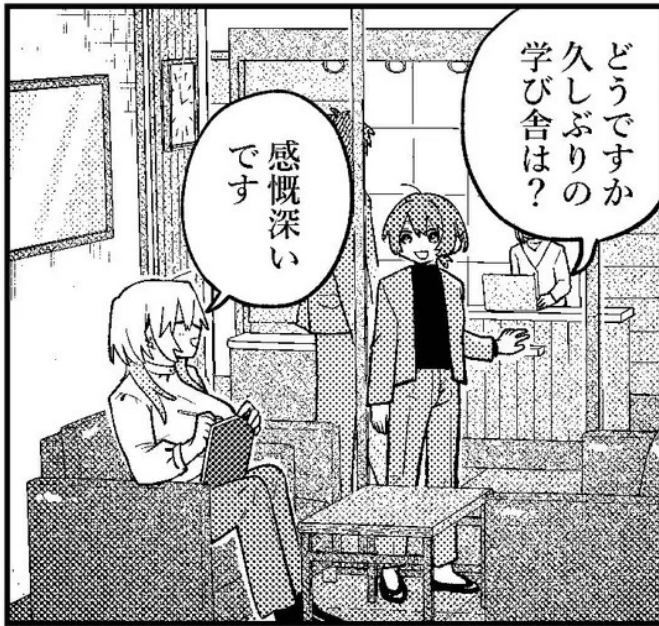








みかみ
三上 紙 先生 (28)
売れっ子百合漫画家



—今日は私の
担当作家である
三上先生と

アニメ化決定の
記念講演のため
先生の母校に
来ている



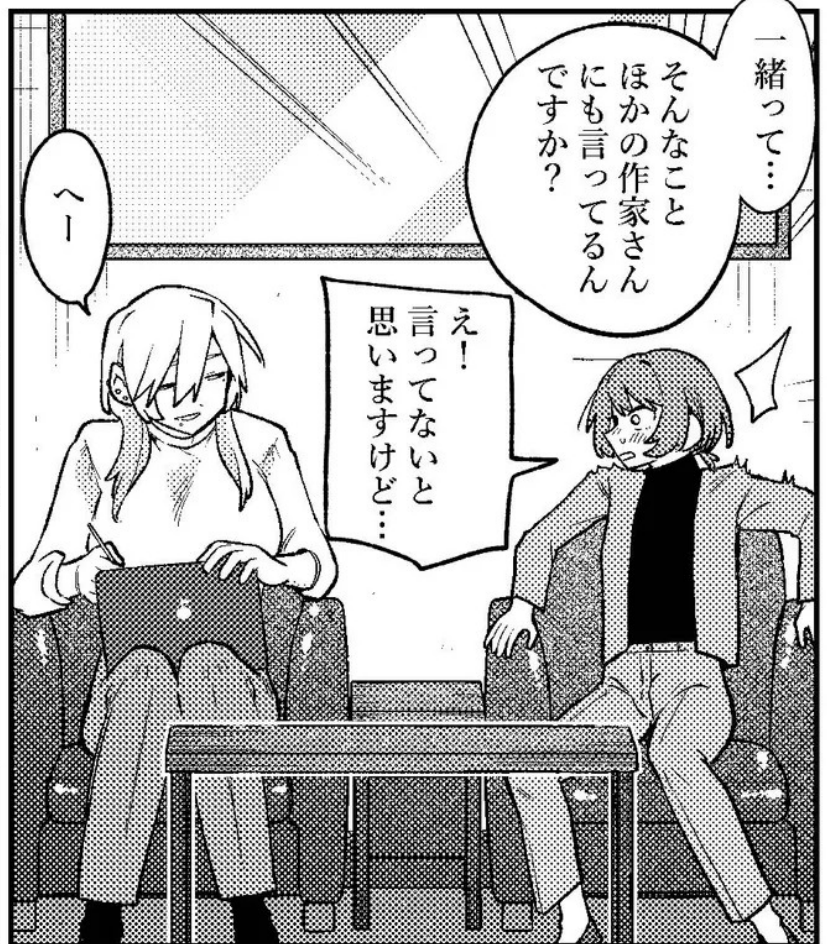


じゃあ
私は特別
なんですネ



確かに
そうですけど

ほ…ほかの
作家さんも同様に
特別ですからね！



一緒に…

そんなこと
ほかの作家さん
にも言ってるん
ですか？

え！
言っていないと
思いますけど…

へー



えー
そうなん
ですか
残念♪

残念って…

—三上先生は
時々こうして

思わせぶりな
ことを
言ってくる
ときがある



それが
本気なのか
冗談なのかは
わからないけど

正直悪い気は
しない…

—だって

もう、好きだし。

編集さん
今日疲れて
ますか？

ふふ
今日の会食は
早めに終わら
せて休んでく
ださいね

すみません
顔に出て
ましたよね…

気を付けます！

編集さんの前だと
何でも言っちゃ
うんですよ

なんか安心する
っていうか…

フツッ
キュンッ
…なんて
私酔ってますね

※惚れるに
至る数々の
出来事たち

編集さん
おはよう
ございます…

寝起きの声
可愛い…
ギャップ!!

…と言っても
編集だから
そんなこと
言えるわけ
ないんだけど

編集さん
お誕生日
おめでとう
ございます
これ
プレゼント
です

あ…
ありがとうございます！

公私混同
絶対！

しっかし
顔良いなあ…

そんな
見られると
照れますよ

編集さんの
えっち

ちがっ…私はただ
三上先生の
進捗状況
見てたんですよ！

大丈夫ですよ
いつも間に合ってる
じゃないですか

そうです
けど…!!

すみません
そろそろ
お願いします

仲良いな

